

報道関係各位

三井物産株式会社

役員人事

2019年1月18日開催の取締役会において、4月1日付の執行役員人事、及び6月20日開催予定の定時株主総会及び取締役会に付議される予定の取締役・監査役人事が添付の通り決議されましたのでお知らせ致します。

<内容一覧>

I. 執行役員人事

- 1) 昇格執行役員 (4月1日付)
- 2) 新任執行役員 (4月1日付)
- 3) 委嘱業務の変更 (4月1日付)
- 4) 退任執行役員 (3月31日付、6月20日株主総会日付、1月31日付)

II. 取締役人事

- 1) 新任取締役 (6月20日株主総会付議予定)
- 2) 退任取締役 (6月20日株主総会日付)

III. 監査役人事

- 1) 新任監査役 (6月20日株主総会付議予定)
- 2) 重任監査役 (6月20日株主総会付議予定)
- 3) 退任監査役 (6月20日株主総会日付)

IV. 上記人事に伴う関連一般人事

【添付資料】

- ①4月1日以降の執行役員体制
- ②6月20日開催予定株主総会日以降の取締役・監査役体制
- ③6月20日開催予定株主総会日以降の役員数
- ④新任取締役及び新任・重任監査役の略歴・選任理由
- ⑤重任取締役の選任理由

I. 執行役員人事

1) 昇格執行役員 12名

2019年4月1日付

氏名	新	現
北森 信明	代表取締役副社長執行役員CDO (CDO、ヘルスケア・サービス事業本部、ICT事業本部、コーポレートディベロップメント本部 担当、デジタルトランスフォーメーション担当)	代表取締役専務執行役員CDO (CDO、プロジェクト本部、モビリティ第一本部、モビリティ第二本部、ICT事業本部 担当、デジタルトランスフォーメーション担当)
竹部 幸夫	代表取締役副社長執行役員 (鉄鋼製品本部、金属資源本部、エネルギー第一本部、エネルギー第二本部 担当)	代表取締役専務執行役員 (鉄鋼製品本部、金属資源本部、エネルギー第一本部、エネルギー第二本部 担当)
内田 貴和	代表取締役専務執行役員CFO	代表取締役常務執行役員CFO
堀 健一	代表取締役専務執行役員 (ベーシックマテリアルズ本部、パフォーマンスマテリアルズ本部、ニュートリション・アグリカルチャー本部、食料本部、流通事業本部 担当)	代表取締役常務執行役員 (ベーシックマテリアルズ本部、パフォーマンスマテリアルズ本部、ニュートリション・アグリカルチャー本部、食料本部、流通事業本部 担当)
森本 卓	副社長執行役員アジア・大洋州本部長 兼 アジア・大洋州三井物産(株)社長 (在シンガポール)	専務執行役員アジア・大洋州本部長 兼 アジア・大洋州三井物産(株)社長 (在シンガポール)
北川 慎介	専務執行役員関西支社長	常務執行役員関西支社長
大間知 慎一郎	専務執行役員南西アジア総代表 兼 インド三井物産(株)社長 (在ニューデリー)	常務執行役員金属資源本部長
藤原 弘達	専務執行役員CCO	常務執行役員エネルギー第二本部長
吉森 桂男	専務執行役員米州本部長 兼 米国三井物産(株)社長 (在ニューヨーク)	常務執行役員米州本部長 兼 米国三井物産(株)社長 (在ニューヨーク)
吉川 美樹	常務執行役員食料本部長	執行役員食料本部長
米谷 佳夫	常務執行役員 (プロジェクト本部、モビリティ第一本部、モビリティ第二本部 担当、デジタルトランスフォーメーション副担当)	執行役員プロジェクト本部長
宇野 元明	常務執行役員 インドネシア三井物産(株)社長 (在ジャカルタ)	執行役員 インドネシア三井物産(株)社長 (在ジャカルタ)

2) 新任執行役員 8名

2019年4月1日付

氏名	新	現
野崎 元靖	執行役員エネルギー第二本部長	理事エネルギー第二本部 モザンビーク事業部長
森安 正博	執行役員ICT事業本部長	ベトナム三井物産(有)社長 (在ハノイ)
大黒 哲也	執行役員モビリティ第一本部長	機械・インフラ業務部長
岡本 達也	執行役員モビリティ第二本部長	モビリティ第二本部長補佐
真野 雄司	執行役員IR部長	IR部長
菅原 正人	執行役員アジア・大洋州副本部長 兼 アジア・大洋州本部CAO 兼 アジア・大洋州三井物産(株)CAO (在シンガポール)	アジア・大洋州副本部長 兼 アジア・大洋州本部CAO 兼 アジア・大洋州三井物産(株)CAO (在シンガポール)
中井 一雅	執行役員プロジェクト本部長	ニュートリション・アグリカルチャー本部長補佐
重田 哲也	執行役員経理部長	フィナンシャルマネジメント第一部長

3) 委嘱業務の変更 11名

2019年4月1日付

氏名	新	現
藤井 晋介	代表取締役副社長執行役員CAO兼CIO兼CPO	代表取締役副社長執行役員 (ヘルスケア・サービス事業本部、コンシューマービジネス本部、コーポレートディベロップメント本部 担当)
小野 元生	専務執行役員東アジア総代表 兼 三井物産(中国)有限公司董事長 (在北京)	専務執行役員中国総代表 兼 三井物産(中国)有限公司董事長 (在北京)
大間知 慎一郎	専務執行役員南西アジア総代表 兼 インド三井物産(株)社長 (在ニューデリー)	常務執行役員金属資源本部長
藤原 弘達	専務執行役員CCO	常務執行役員エネルギー第二本部長
佐藤 真吾	常務執行役員ブラジル三井物産(株)社長 兼 米州本部長付 (在サンパウロ)	常務執行役員モビリティ第一本部長
米谷 佳夫	常務執行役員 (プロジェクト本部、モビリティ第一本部、モビリティ第二本部 担当、デジタルトランスフォーメーション副担当)	執行役員プロジェクト本部長
目黒 祐志	執行役員CIS総代表 兼 三井物産モスクワ(有)社長 (在モスクワ)	執行役員CAO補佐
塩谷 公朗	執行役員監査役室付	執行役員経理部長
瀬戸崎 毅	執行役員中部支社長	執行役員モビリティ第二本部長
藤田 礼次	執行役員タイ国三井物産(株)社長 兼 MITSIAM INTERNATIONAL,LIMITED社長 (在バンコク)	執行役員コンシューマービジネス本部長 兼 新本社ビル開発室長
小寺 勇輝	執行役員金属資源本部長	執行役員金属業務部長

4) 退任執行役員 8名

2019年3月31日付

氏名	新	現
鈴木 慎	取締役(4月1日付)	代表取締役副社長執行役員CCO
田中 聡	取締役(4月1日付)	代表取締役副社長執行役員CAO兼CIO兼CPO
土屋 信司	退任	常務執行役員ブラジル三井物産(株)社長 兼 米州本部長付 (在サンパウロ)
羽鳥 信	退任	執行役員中部支社長
丸岡 利彰	退任	執行役員CIS総代表 兼 三井物産モスクワ(有)社長 (在モスクワ)
齋藤 正記	退任	執行役員 ICT事業本部長

2019年6月20日株主総会日付

氏名	新	現
塩谷 公朗	監査役(6月20日株主総会付議予定)	執行役員監査役室付(4月1日付)

2019年1月31日付

氏名	新	現
八木 浩道	退任	常務執行役員南西アジア総代表 兼 インド三井物産(株)社長 (在ニューデリー)

II. 取締役人事

1) 新任取締役 3名

2019年6月20日株主総会付議予定

氏名	新	現
藤原 弘達	代表取締役専務執行役員CCO	専務執行役員CCO(4月1日付)
米谷 佳夫	代表取締役常務執行役員 (プロジェクト本部、モビリティ第一本部、モビリティ第二本部 担当、デジタルトランスフォーメーション 副担当)	常務執行役員(4月1日付) (プロジェクト本部、モビリティ第一本部、モビリティ第二本部 担当、デジタルトランスフォーメーション 副担当)
内山田 竹志	取締役(*)	

(*) 社外取締役

2) 退任取締役 3名

2019年6月20日株主総会日付

氏名	新	現
鈴木 慎	監査役(6月20日株主総会付議予定)	取締役(4月1日付)
田中 聡	顧問	取締役(4月1日付)
竹内 弘高	退任	取締役(*)

(*) 社外取締役

Ⅲ. 監査役人事

1) 新任監査役 2名

2019年6月20日株主総会付議予定

氏名	新	現
鈴木 慎	監査役	取締役(4月1日付)
塩谷 公朗	監査役	執行役員監査役室付(4月1日付)

2) 重任監査役 1名

2019年6月20日株主総会付議予定

氏名	新	現
小津 博司	監査役(*)	監査役(*)

(*)社外監査役

3) 退任監査役 2名

2019年6月20日株主総会日付

氏名	新	現
岡田 譲治	退任	監査役
山内 卓	退任	監査役

IV. 上記人事に伴う関連一般人事

2019年4月1日付

氏名	新	現
森 清	理事出向[三井物産メタルズ(株)代表取締役社長] (金属資源本部新金属・アルミ部) (在東京)	出向[三井物産メタルズ(株)代表取締役社長] (金属資源本部新金属・アルミ部) (在東京)
児島 大司	理事マレーシア三井物産(株)社長 兼 アジア・大洋州三井物産(株)クアラルンプール支 店長 (在クアラルンプール)	マレーシア三井物産(株)社長 兼 アジア・大洋州三井物産(株)クアラルンプール支 店長 (在クアラルンプール)
鈴木 正暢	理事ヘルスケア・サービス事業本部長補佐	ヘルスケア・サービス事業本部 ファーマ事業部長
森 雅彦	理事リスクマネジメント部長	リスクマネジメント部長
能登谷 淳	理事北海道支社長	北海道支社長
松本 夏寅	理事コーポレートディベロップメント本部不動産事業部 長 兼 新本社ビル開発室長	コンシューマービジネス本部 不動産事業部長
市川 誠	理事欧州三井物産(株) ヨハネスブルグ支店長	欧州三井物産(株) ヨハネスブルグ支店長
永野 直樹	理事監査役室長	CFO統括部長
野瀬 道広	理事メキシコ三井物産(有)社長 (在メキシコシティ)	モビリティ第一本部 交通プロジェクト部長
中村 誠	理事ペルー三井物産(株)社長	ペルー三井物産(株)社長
奥村 隆	秘書室長	コーポレート物流部
佐藤 理	金属業務部長	金属資源本部 鉄鉱石部長
矢野 晴朗	機械・インフラ事業支援部長	フィナンシャルマネジメント第二部長

氏名	新	現
榎本 善之	機械・インフラ事業支援副部長	アジア・大洋州本部モビリティ商品本部長 兼 アジア・大洋州三井物産(株)モビリティ商品本部長
阿久津 剛	次世代・機能推進業務部長	コンシューマー・ヘルスケア業務部長
橋村 和広	ニュートリション・アグリカルチャー本部長補佐	プロジェクト本部 プロジェクト開発第一部長
木原 伸一	理事流通事業本部長補佐	理事コンシューマービジネス本部長補佐
鳴釜 宏充	ベトナム三井物産(有)社長 (在ハノイ)	事業統括部投資総括室長

以上

【4月1日以降の執行役員体制】（45名）

社 長	安 永 竜 夫		
副社長執行役員 (4名)	藤 井 晋 介 竹 部 幸 夫	北 森 信 明 森 本 卓	
専務執行役員 (8名)	内 田 貴 和 藤 谷 泰 之 北 川 慎 介 藤 原 弘 達	堀 健 一 小 野 元 生 大間知 慎一郎 吉 森 桂 男	
常務執行役員 (7名)	勝 登 佐 藤 真 吾 吉 川 美 樹 宇 野 元 明	劔 弘 幸 鳥 海 修 米 谷 佳 夫	
執 行 役 員 (25名)	目 黒 祐 志 永 富 公 治 上 野 佐 有 瀬戸崎 毅 加 藤 丈 雄 宮 田 裕 彦 竹 増 喜 明 堀 晋 一 大久保 雅 治 森 安 正 博 岡 本 達 也 菅 原 正 人 重 田 哲 也	塩 谷 公 朗 高 田 康 平 山 口 裕 視 藤 田 礼 次 小 寺 勇 輝 平 林 義 規 具志堅 喜 光 菊地原 伸 一 野 崎 元 靖 大 黒 哲 也 真 野 雄 司 中 井 一 雅	

【6月20日開催予定株主総会日以降の取締役・監査役体制】

代表取締役会長	飯 島 彰 己
代表取締役社長	安 永 竜 夫
代表取締役	藤 井 晋 介
代表取締役	北 森 信 明
代表取締役	竹 部 幸 夫
代表取締役	内 田 貴 和
代表取締役	堀 健 一
代表取締役	藤 原 弘 達
代表取締役	米 谷 佳 夫
* 取締役	武 藤 敏 郎
* 取締役	小 林 いずみ
* 取締役	Jenifer Rogers
* 取締役	Samuel Walsh
* 取締役	内山田 竹 志
常勤監査役	鈴 木 慎
常勤監査役	塩 谷 公 朗
* 監査役	松 山 遙
* 監査役	小 津 博 司
* 監査役	森 公 高

*は社外取締役・社外監査役

【6月20日開催予定株主総会日以降の役員数】

〈取締役〉

代表取締役会長	1名
代表取締役社長	1名
代表取締役	7名
社外取締役	5名
取締役 合計	14名

〈監査役〉

常勤監査役	2名
社外監査役	3名
監査役 合計	5名

〈取締役・監査役〉

取締役・監査役 合計	19名（内、社外8名）
------------	-------------

新任取締役略歴・選任理由

添付④

藤原 弘達

(フジワラ ヒロタツ)

生年月日： 1961年 1月 10日生

最終学歴： 1984年 3月
東北大学経済学部卒業

入社： 1984年 4月 当社入社

略歴：

1984年	4月	石油第一部
88年	8月	中部支社化学品燃料部
92年	4月	エネルギー総括部
92年	5月	海外研修員(エネルギー・東南アジア/英国/中東)
93年	5月	石油製品貿易部
2001年	12月	石油貿易部/室長
04年	8月	中東三井物産(株)ドーハ事務所長
07年	6月	石油部
07年	10月	電力燃料部
08年	4月	秘書室
10年	6月	LNG第二事業部長
12年	10月	天然ガス第一部長
14年	4月	執行役員エネルギー業務部長
15年	4月	執行役員エネルギー第二本部長
17年	4月	常務執行役員エネルギー第二本部長
		現在に至る

選任理由： 藤原弘達氏は、エネルギー分野での卓越した見識・実績、及び当社経営幹部の一角を担うに相応しい人格を兼ね備え、エネルギー業務部長、エネルギー第二本部長等の経験を通じて培った優れた経営手腕を取締役会の意思決定と業務執行の監督に活かすべく、新たに取締役候補者となりました。今後は、CCOとして人事総務、法務、物流等、関連のコーポレートスタッフ部門を管掌し、当社グループにおけるインテグリティ・コンプライアンスの浸透・徹底や働き方改革を含むダイバーシティ等を推し進めていくことを期待します。

所有株式数： 17,956株 (2018年9月末時点)

新任取締役略歴・選任理由

米谷 佳夫

(コタニ ヨシオ)

生年月日： 1962年 4月 11日生

最終学歴： 1985年 3月
東京大学工学部卒業

入社： 1985年 4月 当社入社

略歴：

1985年	4月	重機械輸出部
91年	10月	出向[MBK PLANT SERVICE, INC.] (重機部) (在ニューヨーク)
95年	7月	重機部
99年	10月	化学プラント部
2000年	9月	化学プラント部/主席
01年	10月	海外プロジェクト第一部/室長
06年	4月	電力事業部/室長
08年	4月	プロジェクト開発第一部
08年	9月	電力第一部
10年	3月	プロジェクト業務部長
13年	4月	プロジェクト本部長補佐
14年	5月	アジア・大洋州副本部長 兼 アジア・大洋州三井物産(株)SVP 兼 投資支援室長
15年	4月	執行役員アジア・大洋州副本部長 兼 アジア・大洋州 三井物産(株)SVP兼 投資支援室長
16年	4月	執行役員プロジェクト本部長 現在に至る

選任理由： 米谷佳夫氏は、機械・インフラ分野での卓越した見識・実績、及び当社経営幹部の一角を担うに相応しい人格を兼ね備え、プロジェクト業務部長、アジア・大洋州副本部長、プロジェクト本部長等の経験を通じて培った優れた経営手腕を取締役会の意思決定と業務執行の監督に活かすべく、新たに取締役候補者としました。今後は、当社中核分野である機械・インフラを中心に、成長4分野の一つと位置付けるモビリティにおいても、事業拡大や新たな収益の柱の確立等を通じた企業価値向上に貢献することを期待します。

所有株式数： 12,532株 (2018年9月末時点)

新任取締役略歴・選任理由

内山田 竹志

(ウチヤマダ タケシ)

生年月日： 1946年 8月 17日生

最終学歴： 1969年 3月
名古屋大学工学部応用物理学科卒業

入社： 1969年 4月 トヨタ自動車工業株式会社入社

略歴：
1969年 4月 トヨタ自動車工業株式会社入社
82年 7月 トヨタ自動車株式会社に社名変更
94年 1月 第2開発センター第2企画部主査
96年 1月 第2開発センターチーフエンジニア
98年 6月 取締役就任
98年 6月 第3開発センター副センター長
2000年 6月 第2開発センターセンター長
01年 6月 常務取締役就任
01年 6月 海外カスタマーサービス本部本部長
02年 6月 第1開発センターセンター長
03年 6月 専務取締役就任
03年 6月 車両技術本部本部長
04年 6月 生産管理・物流本部本部長
05年 6月 取締役副社長就任
09年 6月 デザイン本部本部長
12年 1月 第1技術開発本部本部長
12年 6月 取締役副会長就任
13年 6月 取締役会長就任
現在に至る

主な現兼職：
18年 6月 株式会社 東海理化電機製作所監査役
18年 6月 豊田合成株式会社監査役

選任理由： 内山田竹志氏は、長年に亘り、トヨタ自動車（株）において時代が求めるスマートモビリティ社会を実現し得る環境・安全技術の研究や、消費者が求める製品の開発を手掛けてきた経験を有しており、同社の役員として優れた経営手腕を発揮しております。また、同氏は、日本経済団体連合会副会長や内閣府総合科学技術・イノベーション会議の有識者議員等の職務を通じ、幅広く公益にも貢献してきており、グローバル企業におけるマネジメント経験と社会全般に対する高い見識を活かし、多角的な視点から、当社の経営への指導・監督を行っていただくべく、新たに社外取締役候補とするものです。当社は中期経営計画において「新たな成長分野の確立」を重点施策の一つとし、その成長分野としてモビリティ及びリテール・サービスを掲げていますが、斯かる分野における新たな価値創造を通じた次の収益の柱の確立に向けて専門性と経験に基づいた助言を得ることも期待されます。

所有株式数： 0株 （2018年9月末時点）

新任監査役略歴・選任理由

鈴木 慎

(スズキ マコト)

生年月日： 1958年 4月 13日生
最終学歴： 1981年 3月
国際基督教大学教養学部卒業
入社： 1981年 4月 当社入社

略 歴：

1981年	4月	物資建設会計部
84年	5月	電気機械輸出部
89年	10月	New Delhi事務所
93年	10月	電機国際部
96年	2月	米国三井物産(株)
97年	8月	米国三井物産(株)/GM
2002年	6月	機械・情報総括部
03年	6月	Business School研修員(Stanford・EP)
03年	8月	機械・情報総括部
03年	10月	電機・プラントプロジェクト本部
04年	4月	秘書室
06年	8月	プロジェクト業務部/戦略企画室長
07年	4月	電力プロジェクト部長
08年	4月	電力第一部長
10年	5月	プロジェクト本部長補佐
11年	4月	執行役員南西アジア総代表
13年	4月	常務執行役員南西アジア総代表
15年	4月	専務執行役員CCO
15年	6月	代表取締役専務執行役員CCO
17年	4月	代表取締役副社長執行役員CCO
		現在に至る

選任理由：鈴木慎氏は、機械・インフラ分野における卓越した見識・実績、及び当社経営陣の一角を担うに相応しい人格を兼ね備え、2015年6月の取締役就任以来、人事総務・法務・物流等関連のコーポレートスタッフ部門を管掌し、CCOとして当社グループのコンプライアンスの徹底を推進いたしました。これらの経験や見識を有し、当社事業に通暁し、監査役としての職務を適切に遂行することを期待します。

所有株式数： 73,494株 (2018年9月末時点)

新任監査役略歴・選任理由

塩谷 公朗

(シタニ キミロウ)

生年月日： 1960年10月 14日生

最終学歴： 1984年 3月
東京大学法学部卒業

入 社： 1984年 4月 当社入社

略 歴：

1984年	4月	食料会計部
87年	10月	経理海外研修員(英国)
88年	10月	税務部
94年	7月	経理部
97年	12月	米国三井物産(株)
2002年	5月	米国三井物産(株)/GM
05年	8月	金属・エネルギー会計部/室長兼出向[ワンドゥー石油開発(株) 監査役](金属・エネルギー会計部)(在東京)
07年	4月	経理部企画室長
09年	5月	経理部決算統括室長
12年	4月	セグメント経理部長
13年	4月	フィナンシャルマネジメント第一部長
15年	4月	執行役員経理部長
		現在に至る

選任理由： 塩谷公朗氏は、経理・財務関連業務における卓越した専門知識、及び当社経営陣の一角を担うに相応しい人格を兼ね備え、2015年4月に執行役員に就任しました。就任以来、経理部長として当社決算及び税務等の業務を統括・管掌し、またポートフォリオ管理委員会、投融資案件審議会の委員として当社重要案件の審議に加わる等、豊富な経験と実績を有しています。これらの経験や見識を有し、当社事業に通暁していることから、監査役としての職務を適切に遂行することを期待します。

所有株式数： 7, 258株 (2018年9月末時点)

重任監査役略歴・選任理由

小津 博司

(オツ ヒロシ)

生年月日： 1949年 7月 21日生

最終学歴： 1972年 3月
東京大学 法学部卒

略 歴：

1974年	4月	検事任官
2006年	6月	法務省刑事局長
07年	7月	法務事務次官
09年	7月	札幌高等検察庁検事長
10年	12月	最高検察庁次長検事
11年	8月	東京高等検察庁検事長
12年	7月	検事総長
14年	7月	退官
14年	9月	弁護士登録
15年	6月	トヨタ自動車株式会社 社外監査役（現任）
17年	3月	株式会社資生堂 社外監査役（現任） 現在に至る

選任理由： 小津博司氏は、検事としての長年の経験により培われた、ガバナンス及びリスクマネジメントに関する高い見識を有しています。2015年6月の監査役就任以来、取締役会及び監査役会におけるガバナンスの観点からの有益な発言を通じて、監査役会及び取締役会の監督機能の向上に多いに貢献しています。また、2018年3月期より指名委員会の委員を務め、当社の役員選任プロセスの透明性向上に貢献しました。同氏は直接企業経営に関与された経験はありませんが、これらの点を考慮し、引き続き当社経営の監査と監督を行っていただくべく、社外監査役候補者とするものです。

所有株式数： 1, 211株 （2018年9月末時点）

氏名	取締役候補者とした理由
飯島 彰己	飯島彰己氏は、金属資源本部長等を経て、2009年4月から2015年3月までの6年間、当社社長として卓越した経営手腕を発揮し、当社の成長に多大な貢献を果たしました。同年4月の会長就任後は、対外活動に加え、経営の監督に注力し、取締役会の議長として高い実効性を備えた取締役会の運営に寄与しています。経営に関する幅広い経験とコーポレートガバナンスに関する深い知見を当社ガバナンスの強化に活かすべく、引き続き取締役候補者とするものです。 なお、当社における会長の役割は、主として経営の監督を行うことであり、執行役員を兼務せず、日常の業務執行には関与しません。
安永 竜夫	安永竜夫氏は、機械・インフラ分野での卓越した見識・実績、及び当社経営者に相応しい人格を兼ね備え、世界銀行等への出向、経営企画部長、機械・輸送システム本部長等の経験を通じ培った優れた経営手腕を振るうべく、2015年4月に社長に就任しました。同年6月の当社取締役への選任後は最高経営責任者兼取締役として、意思決定と業務執行の監督の両面で十分な役割を果たしています。技術革新によるAIやIoTの社会への浸透を始めとする事業環境の加速的な変化が見込まれる状況下、イノベーションの強化と持続的成長の実現を目標に掲げる中期経営計画を確実に推進し、新規事業の創出を含む事業基盤の強化と業態変革を成し遂げて「強い三井物産の復活」を実現するためには、同氏が代表取締役社長として確固たるリーダーシップを発揮することが最適であると判断し、引き続き取締役候補者とするものです。
藤井 晋介	藤井晋介氏は、金属資源分野での卓越した見識・実績、及び当社経営幹部の一角を担うに相応しい人格を兼ね備え、ブラジル三井物産社長、事業統括部長等の経験を通じ培った優れた経営手腕を振るうべく、2016年6月に取締役に就任しました。現在はヘルスケア・サービス事業本部、コンシューマービジネス本部、コーポレートディベロップメント本部を管掌し、当社事業についての高い見識に基づき、卓越した経営手腕を振るっています。来期以降はCAO・CIO・CPOとして、経営企画、事業統括、IT推進等のコーポレートスタッフ部門を管掌し、これまでの経験や見識を取締役会における意思決定と業務執行の監督に活かすべく、引き続き取締役候補者とするものです。
北森 信明	北森信明氏は、機械・輸送システム分野での卓越した見識・実績、及び当社経営幹部の一角を担うに相応しい人格を兼ね備え、人事総務部長、ICT事業本部長等の経験を通じ培った優れた経営手腕を振るうべく、2017年6月に取締役に就任しました。現在は、プロジェクト本部、モビリティ第一本部、モビリティ第二本部、ICT事業本部を管掌するほか、当社最重要戦略であるDigital Transformation戦略推進の最高責任者であるCDO(Chief Digital Officer)としても卓越した経営手腕を振るっています。来期以降もCDOに加え、ヘルスケア・サービス事業本部、ICT事業本部、コーポレートディベロップメント本部管掌として、これまでの経験や見識を取締役会における意思決定と業務執行の監督に活かすべく、引き続き取締役候補者とするものです。
竹部 幸夫	竹部幸夫氏は、金属資源・エネルギー分野での卓越した見識・実績、及び当社経営幹部の一角を担うに相応しい人格を兼ね備え、金属資源本部長やインドネシア物産社長、豪州物産社長等の経験を通じ培った優れた経営手腕を振るうべく、2018年6月に取締役に就任しました。現在は鉄鋼製品本部、金属資源本部、エネルギー第一本部、エネルギー第二本部を管掌し、当社事業についての高い見識に基づき、卓越した経営手腕を振るっています。これらの経験や見識を取締役会での意思決定と業務執行の監督に活かすべく、引き続き取締役候補者とするものです。
内田 貴和	内田貴和氏は、経理・財務関連業務での卓越した専門知識・実績、及び当社経営幹部の一角を担うに相応しい人格を兼ね備え、市場リスク統括部長、総合資金部長、財務部長等の経験を通じて培った優れた経営手腕を振るうべく、2018年6月に取締役に就任しました。現在はCFOとして財経系コーポレートスタッフ部門を管掌し、当社事業についての高い見識に基づき、卓越した経営手腕を振るっています。これらの経験や見識を取締役会での意思決定と業務執行の監督に活かすべく、引き続き取締役候補者とするものです。
堀 健一	堀健一氏は、化学品、食料・流通事業、次世代・機能推進各分野での卓越した見識・実績、当社経営幹部の一角を担うに相応しい人格、IR部長、経営企画部長、ニュートリション・アグリカルチャー本部長等の経験を通じて培った優れた経営手腕を振るうべく、2018年6月に取締役に就任しました。現在はベーシックマテリアルズ本部、パフォーマンスマテリアルズ本部、ニュートリション・アグリカルチャー本部、食料本部、流通事業本部を管掌し、当社事業についての高い見識に基づき、卓越した経営手腕を振るっています。これらの経験や見識を取締役会での意思決定と業務執行の監督に活かすべく、引き続き取締役候補者とするものです。
武藤 敏郎	武藤敏郎氏は、財務省及び日本銀行において培ってきた財政・金融その他経済全般に亘る高い見識を有しています。取締役会では専門知識を生かして活発に発言され、議論を深めることに大いに貢献しています。2019年3月期は報酬委員会の委員長とガバナンス委員会の委員を務め、役員報酬制度の検討・改定やコーポレートガバナンス・コード改訂への対応等において強いリーダーシップを発揮しました。同氏の財務・金融における高い見識、コーポレートガバナンスに関する知見を活かし、引き続き当社の経営への助言と監督を行っていただくべく、社外取締役候補者とするものです。
小林 いずみ	小林いずみ氏は、民間金融機関及び国際開発金融機関の代表を務めた経験により培われた、イノベーションを生む組織運営やリスクマネジメントに関する高い見識を有しています。取締役会では多角的な視点から活発に発言され、議論を深めることに大いに貢献しています。2019年3月期は、報酬委員会の委員として、役員報酬制度の検討・改定に関する議論に貢献したほか、指名委員会の委員長として、コーポレートガバナンス・コード改訂を受けたCEOを含む経営陣幹部の解任方針・手続きや後継者計画の設計・検討等において強いリーダーシップを発揮しました。これらの点を考慮し、引き続き当社の経営への助言と監督を行っていただくべく、社外取締役候補者とするものです。
ジェニファー・ロジャーズ	ジェニファー・ロジャーズ氏は、国際金融機関での勤務経験や企業内弁護士としての法務業務の経験により培われた、グローバルな視野及びリスクマネジメントに関する高い見識を有しています。取締役会ではリスクコントロールに資する有益な発言を多く行い、取締役会の監督機能の向上に大いに貢献しています。2019年3月期はガバナンス委員会の委員を務め、透明性の高いガバナンス体制の構築に向け、積極的に意見を述べ、コーポレートガバナンス・コード改訂への対応にも大きく貢献しました。これらの点を考慮し、引き続き当社の経営への助言と監督を行っていただくべく、社外取締役候補者とするものです。
サミュエル・ウォルシュ	サミュエル・ウォルシュ氏は、長年に亘り、自動車産業での上級管理職及び国際的鉱業資源会社の最高経営責任者として培ってきたグローバルな見識と卓越した経営能力を有しています。取締役会では豊富な事業経営経験に基づき幅広い観点からの提言・指摘等を多く行い、取締役会の議論の活性化や実効性の向上に大いに貢献しています。2019年3月期はガバナンス委員会の委員を務め、透明性の高いガバナンス体制の構築に向け、積極的に意見を述べ、コーポレートガバナンス・コード改訂への対応にも大きく貢献しました。同氏のグローバル企業の経営経験や資本政策・事業投資に係る見識・知見に基づき、多角的な視点から、引き続き当社の経営への助言と監督を行っていただくべく、社外取締役候補者とするものです。